



令和8年2月24日

各 位

会 社 名 オエノンホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西永 裕司
(コード番号 2533 東証プライム市場)
問合せ先 取締役コーポレートコミュニケーション室長
田中 直子(TEL 03-6757-4584)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、当社コーポレートガバナンスに関する基本方針に基づき、当社取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 分析・評価方法

当社は、取締役会の実効性に関する評価の趣旨等を説明の上、取締役、監査役全員に取締役会の実効性に関するアンケートを実施し、回答を得ました。このアンケート結果をまとめ、当社取締役会の実効性に関する評価を行いました。

なお、評価を実施した大項目は以下の通りです。

- (1) 取締役会の構成と運営
- (2) 経営戦略と事業戦略
- (3) 企業倫理とリスク管理
- (4) 業績のモニタリングと経営陣の評価・報酬
- (5) 株主等との対話

2. 取締役会の実効性に関する評価結果の概要

上記によるアンケートの結果は、肯定的評価が 91.5%を占めていたことから、当社取締役会の実効性は十分に確保されていると評価いたしました。

肯定的評価の中で、相対的に評価が高かった項目は、「(3) 企業倫理とリスク管理」「(5) 株主等との対話」で、反対に相対的に評価が低かった項目は、「(4) 業績のモニタリングと経営陣の評価・報酬」でした。

事前説明により社外取締役の議案への理解度が高まり自由闊達な議論がなされていること、経営戦略及び事業戦略において将来に向けた取組みを優先する方向性が示されていること、企業倫理及びリスク管理に関する仕組みに必要な範囲で関与できていること、株主等との対話が適切に行われていることなどが評価されており、引き続き維持すべき強みとして確認いたしました。

一方で、取締役会の実効性を更に高めていくために取り組むべき課題として、プロ経営者を社外取締役として選任するか否かを議論すること、取締役へのオリエンテーションやトレーニングの在り方について検討すること、政策保有株式の保有の適否について検討を行うこと、代表取締役の後継者計画について具体的な議論が必要であることなどを確認いたしました。

3. 今後の対応

当社取締役会は、評価結果によって浮かび上がった課題や各取締役・監査役からの提言・意見を踏まえ、より実効性の高い取締役会の実現に向けて様々な取組みを実施してまいります。

また、取締役会のさらなる機能向上を図るべく、今後も年1回、継続的に取締役会の実効性評価を行ってまいります。

以 上